

平成18年度「専修学校におけるNPO団体等と連携したニートに対する  
職業教育支援事業」成果報告書

事業名	デザイン分野で行う若者自立（ニート）のための「eラーニングと支援コミュニティ」の開発		
法人名	学校法人 創造社学園		
学校名	創造社デザイン専門学校		
代表者	理事長 明上友幸	担当者 連絡先	松村眞吾 TEL 06-6452-5541

1. 事業の概要

(主題・ねらい)

デザイン教育の特性にIT技術を駆使して「若者(ニートを含む)に社会参加への入口を与え就業や就学の糸口づくり」として、現実の学校とも、通信教育とも違うスタイルでデザインのプレップスクールを開校するための事業を実施した。

これらは(1) IT技術を駆使したサイバー校舎「webサイト：デザインスクール」での動画提供、情報掲示とメールを用いて受講者間の連携を促し動機形成へとつなげ、第2段階で(2) 実際の授業(デザイン基礎講座)を通じて現実のコミュニケーション力の育成に進むほか、(3) NPO団体と連携して若者支援を行うためのeコミュニティの開発を一体的な事業として実施した。

(実施内容)

デザイン教育の特性にIT技術を駆使して「若者に社会参加への入口を与え就業や就学の糸口づくり」を目的に、eラーニング、双方向の意見交換が可能なコミュニティを備えたサイバー校舎「WEBサイト：デザインスクール」をインフラの基幹として、その基幹とコンテンツとなる以下の開発を行った。

(1) eラーニング動機付けコンテンツ開発

① eラーニング講座 (WEB動画)：デザイン15分野(5分程度の動画と教材)

デザイン15分野：「マスコミ・広報」「広告・出版・編集」「印刷・DTP」「イラスト」「写真・映像」「VI・マーク・サイン」「販促・SP」「ディスプレイ・イベント」「WEB」「ゲーム・マルチメディア」「建築・環境」「インテリア」「家具・建具・エクステリア」「生活雑貨」「工業製品」

②動機付けコンテンツ 「相談センター：適性クイズ」「仕事場：15分野の先輩インタビュー」

(2)教育プログラム「デザイン基礎講座」5講座の開発

①デザイン基礎講座：5講座・・・1講座36時間(48課題×45分)

「視覚デザイン系 2講座」「空間デザイン系 2講座」「モノデザイン系 1講座」

②キャリアコンサルティング(個別面談)プログラム・デザイン基礎講座連動型

(3)サイバー校舎・WEBサイト「デザインスクール」eコミュニティの開発

①若者自立支援の為にWEBサイト「デザインスクール」の構築

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

初期目的であるデザイン教育の特性にIT技術を駆使して「若者(ニートを含む)に社会参加への入口を与え就業や就学の糸口づくり」として、現実の学校とも、通信教育とも違うスタイルでプレップスクールを構築し、そのコンテンツとなる就業の動機付けの「eラーニングと支援コミュニティ」と実際の体験学習としての「デザイン基礎講座」を含め、若者自立支援を行う一体的な支援コミュニティ「デザインスクール」WEBサイトを立ち上げた点です。

■「デザインスクール」WEBサイト URL : [www.designschool.jp](http://www.designschool.jp)

又、これらのIT技術を駆使したeラーニングは、ハードルの低い社会参加の「入口」として自宅の他、若者自立塾など多様な施設で使ってもらうことができますし、サイバー校舎「デザインスクール」WEBサイトから実際の教室に移行した受講生に自信と意欲を付与し、就学や就業の行動に繋がる切り口になると連携先のNPO法人若者自立塾の事務局長の加藤氏及び若者就労自立支援センター(ニートサポートクラブ)カウンセラー阪田氏より賛同を得られました。

### ②事業により得られた成果

#### ◆eラーニングについて

動機付けとして、ゲーム感覚で行うeラーニングコンテンツ(\*1)や自宅にあるもので気軽にものづくりに挑戦するeラーニング講座(WEB動画)により、ニートが不安を感じなく体験でき、自身の潜在している興味を引き出し、自分自身への気付きに繋がった点。

(\*1)「相談センター：適性クイズ」「仕事場：15分野の先輩インタビュー」

#### ◆教育プログラム(デザイン基礎講座、キャリアコンサルティング)について

今までNPO法人若者自立塾のカリキュラムにデザイン分野の講座がなかったため、今回の講座プログラムが加わったことで、ものづくり(手を動かして)の中からの新たな発見を育むプログラムとして開発された点。

今後、こうして育った知識や技術が自身へと繋がり、就学・就業への第1歩が踏み出せる糧となったこと。

### ③今後の活用

◆NPO法人若者自立塾・若者就労自立支援センター(ニートサポートクラブ)での「デザインスクール」WEBサイトeラーニングの利用(リンクも含め)

◆NPO法人若者自立塾・若者就労自立支援センター(ニートサポートクラブ)での「デザイン基礎講座」の実施予定(有償)

### ④次年度以降における課題・展開

#### 1)今後の課題

支援コミュニティに参画するステークホルダーの誘発の仕掛け。(コミュニティ活性化策)  
「デザインスクール」WEBサイトの支援コミュニティをより有効にせしめるためには、学校内部や関係者のみならず、外部のステークホルダー(求人企業・デザイン団体・OB・ニート支援団体等)による「業界の視点」や若者(ニート)に近い年齢層の「等身大の視点」を持つ参画者を多く集めることが重要な点です。これらを集める仕掛けづくりを課題として取り組んでまいります。

#### 2)今後の展開

今回の開発した事業を基軸に高等学校での職業教育(総合学習)や小学校高学年の図画工作への応用展開を視野に地域の学校と連携したプログラムを開発する予定です。

「科目等履修制度(有償)」内の位置付けとし、学則に基づく単位の認定、成績証明書、修了証を発行することとします。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ① 自立支援アドバイザー

(ニートの状況)

近年、就職までたどり着けない若年者は、社会的な活動に漠然とした不安を抱いています。その理由と原因に「失敗への恐怖心」、こだわりを隠れみのにした「自己防衛心」、コミュニケーション能力の不足から起こる「逃避(内向心)」などが共通の性向として上げることができます。共通する性格はまじめ(学校を休まないなど)で消極的、他人の目を気にする、マイナス志向(相手が怖い、失敗が怖い、迷惑がかかるなど)の反面、仕事に対する考え方は完璧主義で一発逆転(変身願望)を望んでいる。

(方法)

◆キャリアコンサルティング(個別面談)プログラム・デザイン基礎講座連動型=1人1回1時間×4回

(プログラム概要)

身に付く学習の大半は、日常のふとした体験や情報から始まり、五感のアンテナに感じた事柄に対して好奇心が生まれ、この興味や好奇心こそ、第一歩を踏み出すエネルギーとして重要になります。これらをこそ、第一歩を踏み出すエネルギーとして重要になります。これらを効果的に育むために、①個別面談での「興味・要素の開示」②デザイン基礎講座での「加工・制作の体験」③個別面談での「興味・自分の気づき」の連動型のステップと個別面談のみの2パターンで実施した。

(カウンセリング回数)

97名400時間

担当	北川文太	11時間	田中克彦	45時間
	吉川千晶	22時間	津田光明	73時間
	福村保	56時間	福本千春	1時間
	片山雄次郎	11時間	川端英樹	6時間
	米谷水枝	5時間	小山則彦	13時間
	(真柴水枝)			
	福田尚子	13時間	松村由紀	12時間
	吉本義巳	3時間	脇坂齊	10時間
	吉田洋一	7時間	吉村史郎	2時間
	上堂藺新悟	3時間	松本司	3時間
	河本善光	24時間	遠藤文雄	20時間
	田中和良	60時間		

(調査項目)

- 1) セミナーやイベント等の参加有無
- 2) 自覚する性格
- 3) 興味関心事

(カウンセリング結果及び自立に向けた状況)

カウンセラーが一方的に話しを聞くのではなく、参加者が主体的にデザイン基礎講座に参加し、言葉だけでなく身体や心を使って多くを体験し相互に刺激しあい学びあう学びと手作業による学習方法を体験し、今後の社会への応用と気づきを知り、それを援助するカウンセラーといった関係性をスタートさせた。「気づき」に主をおき、促進役として接する事を心掛けた。目的や効果を出す焦りは禁物で大切なのはデザイン基礎講座の中での「気づき」を引き出した。

## ②講座の実施

(テーマ)

eラーニング講座：15講座

(期 間) 平成18年12月～平成19年2月

(受講者の属性)

財団法人 大阪労働協会 ジョブカフェ事業部 若者就労自立支援センターニートサポートクラブ  
創造社デザイン専門学校

(受講者数) 計38名 ①マスコミ・広報 3名 ②広告・出版・編集 2名

③印刷・DTP 3名 ④イラスト 3名

⑤写真・映像 1名 ⑥VI・マーク・サイン 3名

⑦販促・SP 3名 ⑧ディスプレイ・イベント 3名

⑨WEB 3名 ⑩ゲーム・マルチメディア 1名

⑪建築・環境 2名 ⑫インテリア 3名

⑬家具・建具・エクステリア 3名

⑭生活雑貨 3名 ⑮工業製品 2名

(場 所) 創造社デザイン専門学校

(受講者の反応)

1) 講座内容：大変おもしろかった 100%

2) ものづくりにたいする興味：大変興味がわいた 100%

3) 仕事に対するイメージ：具体的なイメージができた 67%  
わからない 33%

4) わかりにくかった点：コンピュータの操作の仕方

5) 今後どんな講座を受講したいか：他の種類のものづくり講座  
更に具体的な内容の講座

(テーマ)

デザイン基礎講座：5種

①視覚デザイン系 1講座 36時間 遠藤文雄

②視覚デザイン系 1講座 36時間 河本善光

③空間デザイン系 1講座 36時間 津田光明

④空間デザイン系 1講座 36時間 松本司

⑤モノデザイン系 1講座 36時間 郡山広明

(期 間) 平成18年12月11日(月)～2月8日(木)

(受講生の属性)

特定非営利活動法人 おおさか若者就労支援機構 おおさか若者自立塾  
創造社デザイン専門学校

(受講者数) ①22名 ②30名 ③13名 ④21名 ⑤10名 計97名

(場 所)

おおさか若者自立塾(大阪府泉佐野市)  
創造社デザイン専門学校

(受講者の反応)

1) 講座内容：大変おもしろかった 25%  
おもしろかった 75%

- 2)ものづくりに対する興味：大変興味がわいた 12.5%  
興味があいた 75%  
興味がわかなかった 12.5%
- 3)仕事に対するイメージ：まだわからない 87.5%  
わからない 12.5%
- 4)わかりにくかった点：イメージがつかみにくかった  
計画的に作品を作るのはどうしたらいいのか
- 5)今後どんな講座を受講したいか：制作したものを実用的に使える講座  
造形の基礎 デッサン講座  
自由にイラストを描く講座  
珍しい素材を使ったものづくり講座  
職業に役立つ講座

### ③その他

#### (事業の特色と工夫)

デザインの分野で若者支援の「入口」として機能する「プレップスクール」をWEB上で実現し、バーチャルからリアルへ「楽しみながら一歩前へ挑戦できる」若者支援事業として構築しています。

ここでの「気付き」が仕事や就学への動機形成と実行動へ繋がることを目標としてデザイン教育の特性ICT技術(情報通信技術)を応用としたコンテンツは、ハードルの低い社会参加の入口として広く活用してもらおうことができるものとして取り組みました。